



「赤心」

# 校長室だより

No.9 1/8 (金)

文責 田中 敏子

三学期が始まりました。

冬休み中に、事故や病気等の連絡が一件もなく、子どもたちみんな元気で新年を迎えたようで嬉しく思いました。

三学期は、47日間と最も短い学期ではありますが、一年間のまとめをし新年度に向けて希望や意欲を持つという大事な学期です。

子どもたち一人ひとりが力をつけて進級・進学できるように全力で取り組んでいきたいと思えます。

## 子どもたちの成長

2学期は、真夏の太陽から雪景色までの一番長い学期で、また、

行事等も多くあるので、子どもたちの成長の姿がわかりやすい学期でした。昨年末に「校長室だより」で子どもたちの姿をお伝えする予定でいたのですが、忙しさを理由に書けず申し訳ありませんでした。

ここでは、2学期終業式での6年生の作文を紹介させていただきます。

他の学年の子どもたちについては、12月の個別懇談会で、各担任から子どもたちの“実り多い2学期”の様子をお聞きになったということでお許してください。

### 「2学期で頑張ったこと」

6年 A. M

私が2学期で頑張ったことは二つあります。

一つ目は清掃です。六年生になって初めて「赤心館」の清掃をしました。低学年の頃に「赤心館」の廊下を歩いていると、六年生が雑巾をかけていました。膝をついて一生懸命清掃する姿は、とても心に残っています。そんな風になりたくて頑張ってきました。安茂里小学校の顔「赤心館」の床は、日の光に当たって輝いています。そんなピカピカの床が私は大好きです。だから一生懸命輝くように磨きました。



二つ目は委員会です。初めての図書委員会の委員長、初めて進める「杏っ子祭り」、全部が初めてのことがばかりでした。どうしたらよいか、不安や心配がたくさんありました。図書委員会にはなったことがなくてどんなことをするのかもよく知りませんでした。でも、だんだん回数を重ねるうちに進め方ややり方がわかってきてうまくできるようになりました。先生や副委員長にもたくさん助けてもらったりしたけれど、自分らしく頑張ることが

出来たと思えました。「杏っ子祭り」では、今まで準備やお手伝いをしたりすることしかなかったけれど、今年は中心になってやることを決める側でした。思った以上にたくさん仕事があって大変だったけれど、大変だった分だけ責任を持って出来たと思えました。

いよいよ小学校も三学期を残すだけとなりました。

謹賀新年  
希望に満ちた初日の出のよう  
輝かしい一年でありますように  
心よりお祈り申し上げます  
今年もよろしくお願ひします



